

競技運営上の注意事項とお願い

- (1) 本大会は、2026 年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会実施要項によって運営する。
- (2) ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
- (3) 貴重品は自分の責任において管理すること。更衣室のロッカーを使用してもよい。
- (4) 招集所（競技者係）は、第2ゲート外側付近に設ける。招集時刻に遅れた場合は、競技には出場できませんので招集時刻を厳守すること。欠場する場合は、「欠場届」を必ず「競技者係」に提出すること。

※招集時刻は トラック競技 ：競技開始30分前に開始し、20分前に完了する。

組ごとに招集時刻が異なるので、日程表に記載の時刻を厳守のこと。

フィールド競技：競技開始40分前に開始し、30分前に完了する。

※招集受付は、日程表記載の招集開始時刻から開始しますので早くから招集場所に集合しないこと。

※リレーのオーダーは、招集完了時刻の1時間前までに「競技者係」に提出すること。

※多種目同時出場届は、招集時刻開始前までに「競技者係」に提出すること。

- (5) 1都市から同一種目に3名以上出場している場合の取扱いについては、下記の通りとする。
 - ・予選ラウンドのあるトラック種目では、同一都市の予選記録の上位2名が決勝ラウンドに進出できる。
 - ・フィールド種目(走高跳及び出場者が8名以下の種目は除く)については、3回の試技後、同一都市の記録の上位2名をトップ8進出とする。
 - ・同一都市の上位2名以外の順位は「オープン」扱いとする。
- (6) 男女総合得点により団体順位を決定する。

また、1種目の得点は、1位 7点、2位 5点、3位 4点・・・6位 1点とする。

ただし、1種目で上位2名を得点に採用する。（同一都市で上位2名以外はオープン）
- (7) スパイクシューズのスパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投は、12mm以下とする。

トラック種目のシューズ底の厚さは、WA規定を適用する。
- (8) 年齢別男子砲丸投の砲丸は、40才代は6.000kg、50才代は5.000kg、60才以上は4.000kgを使用する。
- (9) 予選及びタイムレースにおいて、棄権等により1組で競技可能になった場合、再度番組編成を行い1組で決勝を行う。なお、競技は、最初の競技順に行う。
- (10) トラック競技で「800m以上の種目及び4×400mRの第2～4走者」は右腰に腰ビブス（招集所にて配付）を安全ピンで取り付けること。
- (11) トラック競技は、衣類運搬を行う。①ビニール袋(700程度)を各自で準備し、アスリートビブス番号と氏名を記入する。②スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。③競技役員が運搬する。④フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。尚、ビニール袋に入れていないものは運搬を行いません。また、リレー競技については、第4走者の衣類のみ運搬を行います。
- (12) グラウンド内には、競技用具以外の物品を持ち込まないこと。

芝生内で水分給水する場合は、「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
- (13) 走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	それ以降
男子	1m60・1m80	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	3cm
女子	1m30・1m50	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	3cm

- (14) 男子三段跳の踏切板から砂場までの距離は、11mとする。
- (15) 表彰は、下記のとおりとし、表彰係(正面玄関付近)で賞状等を受け取ること。
 - ①団体：男女総合得点の3位までに賞状を授与する。
 - ②個人：各種目3位までに賞状を授与する。

- (16) 個人所有の投てき用具を使用したい場合は、競技開始1時間前までに、第4ゲート内用器具庫1で係員の検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
- (17) 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人が競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
- (18) メインスタンド1階への選手の入退場は、第1・4ゲート部の出入口を利用すること。（エントランスホールは、通行禁止）
- (19) 雨天走路の利用は、一方通行（東から西）とする。また、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
- (20) 競技場外のジョギング・ウォーキングコースは、一般市民の方が利用されますのでスパイクの使用、ハードル・スタブロの設置、ダッシュ等の練習は一切禁止する。
- (21) アスリートビブスは、各自の陸協登録番号とし胸と背に付けること。但し、跳躍種目については、背(胸)に1枚でもよい。尚、1500m・3000m・5000mについては、別アスリートビブス（招集所にて配付）を胸と背に付ける。（フィニッシュ後、直ちに返却すること）
- (22) 競技会中に生じた事故等については、主催者で応急処置は行うが、その後については、本人の責任において処置すること。
- (23) 危害防止について
- ①セパレートレーンの競走競技においては、フィニッシュ後は、自分のレーン(曲線)に沿って進むこと。
 - ②投てき競技においては、競技役員の指示に従い勝手に練習しないこと。
- (24) 「スポーツ少年団の部」については、その他以下のとおりとする。
- ①トラック競技でのスタートの合図は、イングリッシュコールとする。
 - ②同じ選手が2回不正スタートをした場合、その選手を失格とする。
 - ③走幅跳の試技は3回とする。
 - ④表彰：個人、リレーとも1～8位に賞状を渡す。また、個人全員に記録証を渡す。
- (25) その他
- ①練習場所は、補助陸上競技場のみで本競技場(みらいふスタジアム)での練習はできません。
 - ②競技者の衣類・バッグ等の商標については「競技会における広告および展示物に関する規程」による。商標規程に適さないものは、競技者自身がテープ等でマスキング処理をおこなうこと。
 - ③盗撮行為防止のため会場内への撮影機器(カメラ・ビデオ等)の持ち込みは、できません。(スマートフォン・タブレットは使用可)
 - ④選手及び観客の方は、各自で暑さ対策や健康管理に心掛けていただきますようお願いいたします。

※弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。

※競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

※競技場エリア内は全面禁煙です。（スタンド、コンコース及び競技場周囲を含む）